



写真：ハシブトガラス(撮影：令和元年4月5日)

「ハシブトガラス」

ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* スズメ目 カラス科

霧島山の掃除屋さん

私 たちにとつて最もなじみ深い野鳥かもしれません。街中から山地まで生息し、韓国岳でも毎年つがいを確認しています。

よく似ているハシボソガラスより少し大型で、くちばしは湾曲し大きく、頭部が出っ張っています。鳴き声は「カー」と少し澄んだ声をしています。雑食性で、他の野鳥、昆虫、木の实、人間が出した生ごみなどさまざまなものを食べます。特に、動物の死体を食べることから、「森の掃除屋さん」として生態系の中で活躍しています。

とても知能が高いことが知られており、クルミを割るために車にひかせたり、人・色の識別、道具の利用、さらに滑り台で遊ぶなど、驚きの生態を見せてくれます。

昨年は、えびの高原駐車場のアカマツの上で営巣し、数分おきにひなへ餌をせっせと運ぶつがいの姿を観察することができました。

あまり良い印象を持たれないカラスの仲間ですが、森の掃除屋さんとして役割を担っている霧島山を構成する大切な一員です。

(文)えびのエコミュージアムセンター

